

新編
詩林

No 315
12月4日

民主學生同盟
市大支部機關紙

公効協のスト権

持、支、固、斷、金、屬、內、還、奪

主力團

12月文部省・大学当局の 市大学費値上げ運動粉碎

文部省学部長回交を取引
学長学部長の反対に従事
全力集

「マスク」は二つ、てマ
ト達が講を立ち上げ、
スト故親のイデオロギ
ーをハリました。だが
ことの責任は、政府自
民党にある。74春闘に
おける「スト権回復の
方向」が既に秋までに結
論を出す」といつ確約

転者が勞働者として、人間として生きるために、の当然の権利があり、必要不可欠の基本的人権なのである。公労働者たる者たるに、も及ぶ処分に屈せず、整然とストに立ち上がりた。

の史上空前の大成功ストライキ闘争は、一ヶ月で終結して即に坐断するだろう。」と力強く述べた。この政府自民党をいたく浪ばしさせた。

公議のスト権奪還闘争に賛同する。政府より民衆の付与拒否、処分等の実行に反対する。市内大刀屋友諸君よりスト権奪還強力ストライキは 11月26日以来、実に8日間にわたって打ち抜かれていた。

本の要求に従つて、この「刑事罰處分」を打ち出すという政府自民党一そ糾弾されねばならぬといふ。現在の三木内閣の大衆收奪強化・政治反動は勤労人民の反撃を呼びおこしており、かかる暴力の支援の下で開けたこのストライキ闘争は、

を強化しなければならぬ。国立大の学費3倍にノ私
省文教予算原案作成する
大蔵省は来年度予算編成に
あたつて、文教予算抑制の方
針をとりまとめた。(オ)に私
学助成は乙割以下の伸びに抑制
えられ、75年度まことに經常費
半額国庫負担という政府の確
約は全く破棄されたものとな
つてゐる。(オ)に国立大学費
3倍化が打ち出されてゐる。
戦後一貫した政府の低文教
政策は「低成長転換」の中ご
今尚維持され、「受益者負担」と
の名の下学費値上げとこそ勧
められ、学生に教育費の負担を
押しつけてゐる。大学教育へ

の国庫負担を回避する二の政
(ウラヘツヅく)

の名の下学費値上げとして勤
業者、学生に教育費の負担を平
和^{太陽}化へけりる。大學教育へ

3倍化が打ち出されている。
戦後一貫した政府の低文教政策は「低成長転換」の中止。平
今尚維持され、「受益者負担」

えられ 75年度までに経常費
半額国庫負担という政府の確
約は全く破棄されたものとな
つてゐる。ナニニ國立大學費
反 独

あたって、文教予算抑制の方針をとりまとめた。○しに私学助成は乙割以下伸びに抑制

國立大の學復の倍にノ私
大補助金抑制！ 大蔵

我々は、かかる開いを断固
支持し、豈貴開争勝利へ連帶
を強化しなければならぬ。

反動性は全国民の前に露呈した。ムガホは、来春南に向けるなる争奪体制強化で臨むことを打ち出している。

他の生活擁護団争を仰ぐ勢力に限りない勇氣と自信を付与したのごある。政府自民党の

奪殖化、政治反動は勤労人民の反撃を呼びおこしており、かかる勢力の支援の下で向う川に一のスケーラーが倒す。

分裂を打ち出すという政府自民党こそ糾弾されねばならぬ。現在の三木内閣の大衆取

1975

策は、一二〇においても實行しているのだ。

「格差是正」を口実とした国立大の学費値上げは、私學との格差是正どころか、私學学費値上げのあと押しにしかならない。事実、既に、立命同志社・関学、竟合等で大幅値上げが発表され、学生生若の危機、教育の機会均等の危機はますます進行し、学生の間には不可避の状況である。

12月 大阪市・太宰当同一体となつた市大學費値上げ運動を許すなり。

かかる件況の下で、市大學費値上げも必至となつてゐる。来年度國立大値上げを強行せんとする政府にとつて今尚一万二千円という市大學費の存在は、まさに「目の上の瘤」であり、また大阪市もこれ以上放置できなくなつてゐる。12月大阪市は予算原案の作成の段階に入るが、市大學費は財政局と関係各局（大學も含む）の合意で議会に提出される事になる。我々はここでの決定を断固阻止すべく全力をもつて起しごうねばならぬ。

「市大學費は安すぎる」と居直る大學当局の値上げ運動を許さず、各官部長・學長の反対声明を元々取ろう。

學友諸君！

市大學費に「一いこは、決定前に大學に諮詢が下ろさることになつてゐる。故に我々は、大學当局が二の時点ご明確に値上げ反対の立場に立つことを要求しなければならない。既に、工学部自治会は、TIA・TIC・D決議を背景に、19日、學部長団を百名の學生の結果で克ち取り、3日、工学部教授公の學費に関する見解をひき出し、更に、工教委員会へ前進していく。またE・Sにおいても「IA・C・教育・EI・A・B・小野ゼミ決議を先頭に、學部長団交へ強固な意志統一が克ち取つてゐる。だが、當局の言動は、まさに「値上げ容認」の資本以外の何物のでもない。

即ち、「市大は出すべき」「不當な値上げには反対するが、ある程度は仕方がない」「大學には反対する権限がない」へ工学部長・學生部長など、大阪市にてて市大學費値上げが前提となつてゐるようだ。大學当局にとっても問題は、「リフ・ドルぐら」といふ基準は一体どこにあるのか？ 大學当局は市學生の6%以上がアーバイトに奔走してゐる現状、生産政策の現状

をどう評価するのか！ 当局の言動は教育者としての立場を全く放棄し、「反対すれば研究費を削減する」として、不当な市の圧力に屈づともせず、自己の研究工事に埋没する許しがたいものである。しかも、Eにおいては、学部長は因交拒否を行なつてゐるのである。我々は當局のかかる値上げ容認の運動を断固却し、全體の競争強化で反対声明を要求してゆかねばならない。

學友諸君！

文サ連・新井一ケルBOX要求者組合へ32升一ケル結集クレは、先日、ついに、長年の要求であつた新井一ケルBOX予算の2年ごとの計上を廟いとつてゐる。これは、當局が「予算がない」として一貫して居直り逃亡していたものであるが、大衆的用争と展開すれば當局をこそ市に要求させることができるということを我々に教えており、我々は市大學費値上げの運動を断固大衆的用争の展開で粉碎してゆかねばならない。

市大學費値上げ阻止！

文教予算拡大！

へ共に印れん！